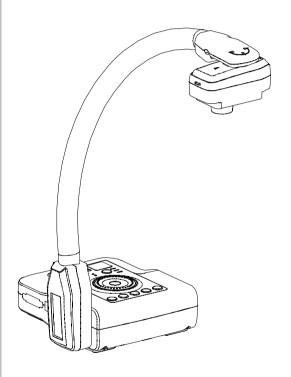
AVerMedia® AVerVision CP-LIGHT

ユーザーマニュアル



AVerMedic

AVerMedia[®] 書画カメラ CP-LIGHT



FCC による注意 (Class A)



本装置は FCC 規則 Part 15 に適合しています。動作は次の 2 つの条件を満たしています: (1) 本装置は有害な干渉を引き起こすことはない。(2) 本装置は誤動作の原因となる干渉を含むいかなる干渉も受信してはならない。

米連邦通信委員会声明

注意-本装置は FCC 規則 Part15 に従う Class A のデジタルデバイスの制限値に適合していることがテストにより確認されています。それらの制限は装置を住居環境で使用した場合に有害な干渉の発生を適度に防止することを目的としています。本装置は無線周波エネルギーを発生、使用、および放出しています。指示に従って設置または使用しない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こすとがあります。しかし、特定の設置によって干渉が発生しないという保証はありません。本装置によってラジオまたはテレビ受信に装置の ON/OFF によって確認できる有害な干渉が発生した場合、ユーザーは以下のいずれか、または複数の対策を講じてください:

- 受信アンテナの向きまたは場所を変える。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 本装置と受信機の電源系列を別の回路にする。
- 販売店やラジオ/ビデオの専門技術者に問い合わせる。

Class A ITE:

Class A ITE は、Class B ITE の限度値を満足せず、Class A ITE の限度値を満足する上記以外の ITE です。それらの装置の販売は制限されませんが、使用に関しては以下の警告に留意する必要があります。

警告- これは Class A 製品です。本製品を室内で使用すると無線干渉を引き起こすことがあり、使用者には適切な手段を講じるよう求められることがあります。

CE Class A (EMC)

本製品は電視

本製品は電磁気両立性指令 2004/108/EEC に関する加盟諸国の法律の近似化の議会指令で制定された条件に適合していることが確認されています。

警告-これは Class A 製品です。本製品を室内で使用すると無線干渉を引き起こすことがあり、使用者にはこの干渉を解消する適切な手段を講じるよう求められることがあります。

免責

本書の内容、品質、商品性、特定の目的への適合性に関して、明示的か暗黙かを問わず、いかなる保証または責任を放棄します。本書が提供する情報の信頼性は慎重に確認されていますが、正確性に欠いたとしても一切責任を負いません。本書に含まれる情報は予告なしに変更されることがあります。

AVerMedia は、本製品または本書の使用または不使用によって発生したいかなる直接的、間接的、特別の、付随的、または結果的な損害に対して、たとえこのような損害が生じる可能性について報告を受けていたとしても、一切責任を負いません。

商標

AVerVision は AVerMedia Information 社の登録商標です。IBM PC は IBM 社の登録商標です。 Macintosh は Apple Computer 社の登録商標です。Microsoft および Windows はそれぞれ Microsoft 社の登録商標および商標です。本書に記載されている他のすべての製品名または会社名は認証および説明目的のためだけで、各社の商標または登録商標となっている場合があります。

著作権

© 2008 by AVerMedia INFORMATION, Inc. 全権留保。本書の一部または全部を AVerMedia Information 社の文書による許可なしに、いかなる手段でも、再発行、転送、検索システムへ保存、他の言語へ翻訳することを禁止します。



ゴミ箱のマークは他の家庭用廃棄物と一緒に本製品を廃棄してはならないことを示しています。むしろ、不要になった電気および電子装置をリサイクルために指定された集積場に持参して、不要な装置を廃棄する必要があります。リサイクルするために不要な装置を廃棄する場所に関する詳しい情報については、家庭用廃棄物処理サービスセンターまたは製品を購入した販売店にお問い合わせください。

4VerMedio

目次

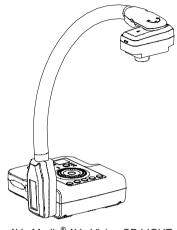
製品紹介	1
パッケージ内容	1
オプション	
各部の紹介	
主な仕様	4
各部の接続	5
電源アダプタの接続	
テレビとの接続	6
VGA、Macディスプレイモニタ、LCD/DLP	
プロジェクタとの接続	7
Windows PCやMacintoshコンピュータとの接続	7
ライトボックスの取り付け(オプション)	8
顕微鏡の接続(オプション)	8
設定と準備	9
カメラヘッド	9
LED照明	9
反射防止シート	9
フレキシブルグースネック式アーム	10
タッチボタン式コントロールパネル	10
OSDナビゲーションツリー	12
メニュー機能	
トラブルシューティング	16
保証について	17

製品紹介

AVerMedia® AVerVision CP-LIGHT をご購入いただきありがとうございます。 本書画カメラを使えば、文書、ネガ、透明フィルム、立体物を、テレビやLCD/DLP プロジェクタに表示して、プレゼンテーションが簡単にできます。

AVerVision CP-LIGHT はビジネス、学術、医療、科学分野で使用するための理想的なプレゼンテーションツールです。

パッケージ内容



AVerMedia® AVerVision CP-LIGHT



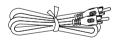
ユーザーマニュアル



バッグ



反射防止シート



RCA ケーブル



電源アダプタ

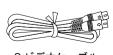


コンピュータ拡張ケーブル (VGA ケーブル)



電源コード

* 電源コードは販売国の電源コンセントの規格により異なります。



Sビデオケーブル

1/er/Media

4VerMedia

オプション



34mm 顕微鏡用アダプタ



28mm 顕微鏡用アダプタ

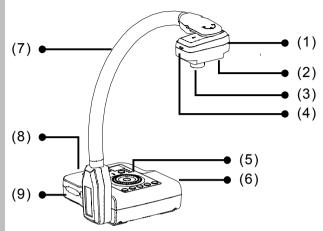


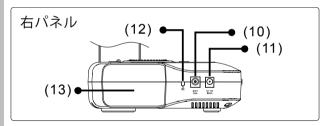
2

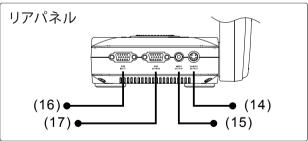
A Vermedia

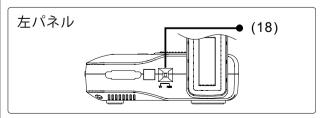
各部の紹介

AVerVision CP-LIGHT 各部の名称は下図の通りです。









- (1) カメラヘッド
- (2) LED 照明ユニット
- (3) カメラレンズ
- (4) LED ON / OFF 切替 スイッチ
- (5) コントロールパネル
- (6) 右パネル
- (7) グースネック式 アーム
- (8) リアパネル
- (9) 左パネル
- (10) ライトボックス電源端子
- (11) DC 12V 電源端子
- (12) 盗難防止用スロット
- (13) カメラヘッドホルダー
- (14) S-ビデオ出力端子
- (15) コンポジットビデオ 出力端子
- (16) RGB 入力端子
- (17) RGB 出力端子
- (18) TV/RGB 切替スイッチ

主な仕様

画像

センサー	1/2" プログレシブ・スキャン CMOS
画素数	320 万画素
フレームレート	24 fps(最大)
ホワイトバランス	手動/自動
露出	自動/手動/フリッカ/ナイトビュー
画像モード	文字強調/写真/ハイフレーム
効果	カラー/白黒/ネガ
アナログ RGB 出力	WXGA 60Hz (1280 x 720); XGA 60 Hz; SVGA 60 Hz; VGA 60 Hz
画像キャプチャ	最大 80 枚まで

光学

レンズ	F3.0; fl=9.6mm
焦点方式	手動/自動
撮影エリア	300mm x 225mm(最大)
ズーム方式	2X AVERZOOM, 8X デジタルズーム

電源

電源	100-240V, 50-60Hz
消費電力	18 W(ランプ消灯時); 20 W(ランプ点灯時)

照明

ランプの種類	LED ランプ

入力/出力

RGB 入力端子	15ピンD-sub(VGA)
RGB 出力端子	15ピンD-sub(VGA)
Sビデオ端子	ミニ DIN ジャック
コンポジットビデオ 端子	RCA ジャック
DC 12V 入力端子	電源ジャック
ライトボックス電 源端子	電源ジャック(DC 6V 出力)

寸法

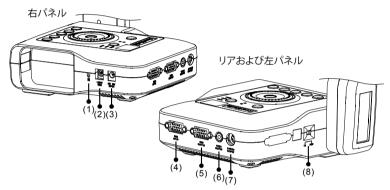
動作時	170 mm x 180mm x 450mm
収納時	320mm x 230mm x 55mm
重量	2.4 kg

各部の接続

CP-LIGHTのリア、左、右パネルの端子を使えば、本体をコンピュータ、グラフィックディスプレイモニタ、LCD/DLP プロジェクタ、テレビなどのデバイスに接続できます。CP-LIGHTのリア、左、右パネルに配置されている端子は下図の通りで、各端子の説明は表を参考してください。



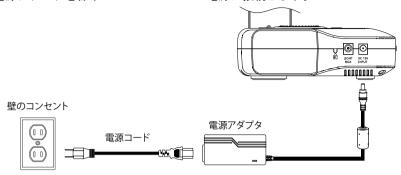
TV / RGB 切替スイッチは接続時に設定を確認ください。



出っ	5K 00
_端子	説明
(1) 盗難防止用スロット	Kensington 互換セキュリティロックまたは盗 難防止用デバイスに利用できます。
(2) ライトボックス電源端子	別売のライトボックスと接続する時に、利用 します。
(3) DC 12V 入力	電源アダプタと接続します。
(4) RGB 入力端子	コンピュータまたはその他のソースからの信号を入力して、RGB出力端子のみにパススルーします。この端子をコンピュータの VGA出力端子に接続します。
(5) RGB 出力端子	カメラ、RGB 入力端子からの信号、または、 メモリからの撮影した画像を VGA/Mac モニ タまたは LCD/DLP プロジェクタに出力しま す。
(6) ビデオ出力端子 (RCA/コンポジット)	カメラからの画像、または、メモリからの撮 影した画像をテレビやビデオ装置に出力しま す。
(7) S ビデオ出力端子	カメラからの信号、または、メモリからの撮 影した画像をテレビやビデオ装置に出力しま す。
(8) TV/RGB 切替スイッチ	ビデオおよび S ビデオまたは RGB および DVI-I 出力端子のいずれかからビデオを出力 するように切り替えます。

電源アダプタの接続

電源アダプタを標準の 100V~240V AC 電源に接続します。



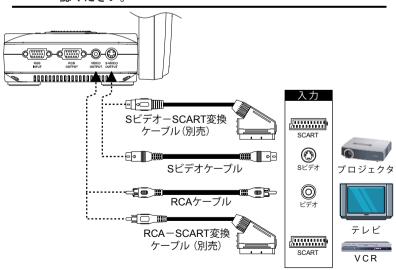
テレビとの接続

テレビや、プレゼンテーションをビデオテープに録画するためのビデオ装置 (VCR など)のビデオ、S ビデオ、または、SCART RGB 入力端子の位置を確認し、CP-LIGHT の S ビデオ出力端子またはビデオ出力端子に接続します。 位置が分からない場合は、テレビやビデオ装置のユーザーマニュアルを参照してください。



高品質のビデオ画像を得るため、S-ビデオ接続端子のご使用がお勧めです。

この時、TV/RGB 切替スイッチを TV に設定することをご確認ください。

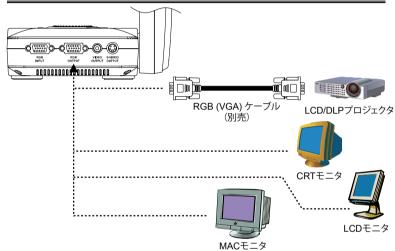


VGA、Macディスプレイモニタ、LCD/DLPプロジェクタとの接続

ディスプレイデバイスの RGB (VGA) 入力端子の位置を確認して、CP-LIGHT の RGB 出力端子に接続します。位置が分からない場合は、デバイスのユーザーマニュアルを参照してください。

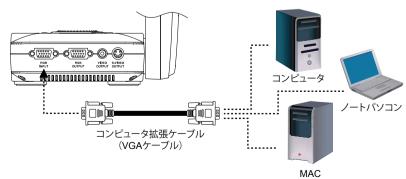


この時、TV/RGB 切替スイッチを RGB に設定することをご確認ください。



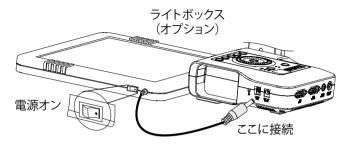
Windows PCやMacintoshコンピュータとの接続

プレゼンテーションを表示するコンピュータやノートパソコンの RGB ビデオ 出力端子を CP-LIGHT の RGB 入力端子に接続します。RGB 入力端子のビデ オ信号は RGB 出力端子にストリーム送信されて、画面に表示されます。



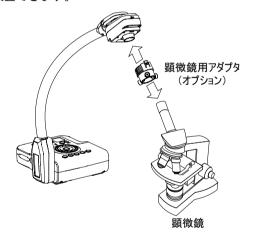
ライトボックスの取り付け (オプション)

オプションのライトボックスを使えば、レントゲン写真、透明スライド、ネガスライドが表示できます。



顕微鏡の接続 (オプション)

CP-LIGHT に顕微鏡を接続すると、目をこらさなくても、微細な対象物を大画面に表示して検査できます。

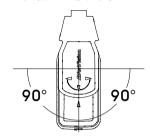


設定と準備

このセクションでは、使用条件に合わせて CP-LIGHT を調整する方法について 説明します。

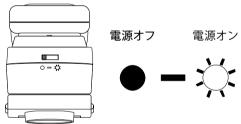
カメラヘッド

カメラヘッドは左右 90°の 回転ができます。



LED照明

LED 照明モジュールは白色光を提供し、暗い場所でのプレゼンテーションに最適です。



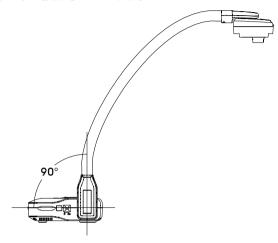
反射防止シート

反射防止シートは特殊コーティングされたシートです。このシートで、雑誌や 写真など、光沢のあるオブジェクトや表面を表示する場合の反射を遮ります。 光沢のある書類の上に反射防止シートを乗せるだけで、反射を遮ることができ ます。



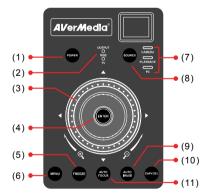
フレキシブルグースネック式アーム

フレキシブルグースネック式アームは、カメラヘッドの高さや位置を自由自在 に調整できるように設計されています。



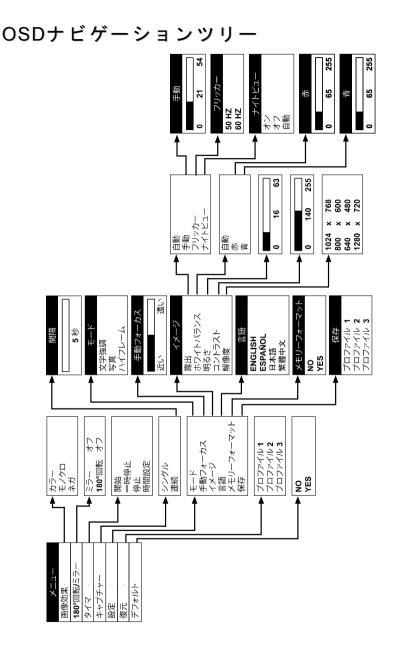
タッチボタン式コントロールパネル

CP-LIGHTの上部に配置されているタッチボタン式コントロールパネルを使えば、よく使われる機能が素早くアクセスできます。



機能	説明
(1) POWER(電源)	電源の ON / OFF が切り替えます。
(2) 出力信号表示	TV/RGB 切替スイッチの設定状態を表示し、ご使用中の信号が確認できます。
(3) シャトルホイール	- シャトルホイールを右方向に回して画像をズー ムインし、左方向に回してズームアウトします

機能	説明
(3) シャトルホイール	(カメラモードと再生モードのみ)。約200%のAVERZOOMレベルに達しても、画像を最大1600%まで継続的にデジタルズームができます。ENTERを押すと、通常サイズ(100%)に戻ります。 - ズームインモードで、シャトルホイール▲、▼、 ▼、▶を押して画像をパンしたり、再生モードで、16 サムネイル画像の選択や、次や前のシングルフルスクリーンブレビューへ移動、または、OSDメインメニューやサブメニューで選択したり、調整します(詳細については、「メニュー機能」を参照してください)。
(4) ENTER	再生モードと OSD メニューで選択を確定します。
(5) FREEZE	カメラの画像を一時停止と再開に切り換えます。
(6) MENU	メニューの立ち上がり、そして OSD のメインメニ ューおよびサブメニューを終了します。
(7) ソース LED	ビデオ信号や画像のソースを表示します。
(8) SOURCE (ソース)	カメラモード、再生モード、 PC モードを切り替えます。 - カメラモードは、内蔵カメラからのビデオ信号を表示します。 - 再生モードは、内蔵メモリからの撮影した画像を
間隔	16 サムネイル表示します。▲、▼、▲、▶ ボタンを使って選択し、ENTER(エンター)を押して選択した画像をフルスクリーン表示します。スライドショーを開始するには、MENU(メニュー)を押して START (開始)を選択し、ENTER (エンター)を押して開始/終了します。INTERVAL (間隔)を選択して、フレームの表示の間隔を秒単位で設定します。 - PC モードは、CP-LIGHT の RGB 入力端子か
	らのビデオ信号を表示します。
(9) AUTO IMAGE (自動補正)	ホワイトバランスと露出設定を自動的に調整・設定 します。
(10) CAP/DEL	- カメラモードで、静止画像を撮りこみます。撮りこんだ画像は内蔵メモリに 1024 x 768 解像度で保存されます。最大 80 枚の画像まで保管できます。 - 再生モードで、選択した画像を内蔵メモリから永
(11) AUTO FOCUS	久に削除します。 焦点を自動的に調整します。



復元 デフォルト

メニュー機能

CP-LIGHT の MENU (メニュー) 機能で、画面表示の微調整の拡張、タイマーの設定、OSD 言語の選択などを行ないます。MENU (メニュー) ボタンを押して、メインメニュー表示やサブメニュー表示を呼び出したり終了します。次に ▲ ボタンまたは ▼ ボタンを使ってメニューリストの項目を選択します。▶/ENTER (エンター) ボタンを使ってサブメニューを開き、◀/ ENTER (エンター) を使ってメインメニューに戻ります。設定を調整するには、◀ ボタンまたは ▶ ボタンを押します。選択を確定するにはENTER (エンター) を押します。



(エンター)を押します。

OSD メニュー

説明



設定 > モード

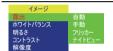
▲または▼ボタンを使って、文字強調モード、写真モード、ハイフレームモードを選択してから、ENTERを押して選択を保存します。

- Text (文字強調)で、隣接する画素の強度を修正して、全体的に鮮明でクリアな画像にします。
- Graphics (写真)で、隣接する画素の変化度を調整し、スムーズな画像にします。
- High Frame (ハイフレーム) フレームレートの キャプチャを増大させ、動作を視覚的に追跡して、 機敏に反応させます。このモードを使用する場合 は十分な光量が必要です。



設定 >手動フォーカス

◆または▶ボタンを使って、焦点を手動で調整してから、ENTER を押して設定を保存し、終了します。



設定 > イメージ > 露出

ト を押し、 本 ボタンまたは ▼ ボタンを使って、Auto (自動)、Manual (手動)、Flicker (フリッカー)、Night View (ナイトビュー) から選択します。 次にENTER (エンター) を押して選択を確定します。 日動) を選択して、カメラの露出を自動調整し、必要な光の量を決めます。



設定 > イメージ > 露出 > 手動

◆または▶ボタンを使って、露出レベルを手動で調整してから、ENTERを押して設定を保存し、終了します。



設定 > イメージ > 露出 > フリッカー

▲ ボタンまたは ▼ ボタンを使って 50Hz または 60Hz から選択します。ディスプレイデバイスによっては、高いリフレッシュレートに対応できません。出力を他のリフレッシュレートに切り替えると、画像が数回ちらつきます。



設定 > イメージ > 露出 > ナイトビュー

▲ ボタンまたは ▼ ボタンを使って Night View (ナイトビュー) を **オン/オフ**または**自動**にします。

暗い場所でプレゼンテーションをする場合は、Night View (ナイトビュー)を使って、オブジェクトの画像を通常の光条件のように表示できます。CP-LIGHT は、露出を自動調整して条件が悪い場合に補正することができます。しかし、撮影した画像はスローモーションで表示されます。



設定 > イメージ > ホワイトバランス

▶を押し、▶ ボタンまたは ◀ ボタンを使って、赤色と青色を自動または手動で調整して、光条件や色温度に合わせます。次に ▶/ENTER (エンター)を押して選択を確定します。



設定 > イメージ > ホワイトバランス > 赤

▶ ボタンまたは ◀ ボタンを使って、赤色レベルを 手動で調整し、次に ENTER (エンター) を押して、 設定を保存して終了します。

画像効果

タイマ キャプチャー

設定 復元

180°回転/ミラー

OSD メニュー 説明 設定 > イメージ > ホワイトバランス > 青 ▶ボタンまたは ◀ ボタンを使って、青色レベルを手 45 255 動で調整し、次に ENTER (エンター) を押して、設 定を保存して終了します。 設定 > イメージ > 明るさ 露出 ホワイトバランス ▶ ボタンまたは ◀ボタンを使って、輝度レベルを上げたり下げたりして、画像の見易さを改善します。輝度レベルは最大 63 まで調整できます。 16 63 コントラスト イメージ 設定 > イメージ > コントラスト ▶ ボタンまたは ◀ ボタンを使って、明るい条件と 路山 ホワイトパランス 明スキ 暗い条件の違いを強調したり低減します。コントラス 140 25 解傷度 トレベルは最大 255 まで調整できます。 設定 > イメージ > 解像度 露出 ホワイトバランス ▶/ENTER(エンター)を押し、▲または▼ボタンを 使ってディスプレイ解像度を選択してから、 明るさ ▶/ENTER (エンター)を押して選択を保存します。 この選択はテレビ出力(コンポジット/S ビデオ)では 使用できません。 設定 > 言語 言語 ▲または▼ボタンを使って言語を選択してから、▶を **ESPAÑOL** 押して選択を保存します。 繁體中文 設定 > メモリーフォーマット メモリーフォーマット ▲ ボタンまたは ▼ ボタンを使って、NO (いいえ) を選択して終了し、YES (はい) を選択して、内蔵メ モリ内に保存されたすべての画像をフォーマットま YES たは削除して、次に ▶/ENTER (エンター) を押しま す。 メッセージ「FORMAT (フォーマット)」が非表示に なり、処理が終了するまでお待ちください。 保存 設定 > 保存 ▲または▼ボタンを使ってプロファイルスロットを 選択してから、希望の設定を保存します。保存できる プロファイル 2 プロファイル 3 のは、効果、モード、輝度、コントラストの設定だけ です。 復元 画像効果 ▶を押し、▲または▼ボタンを使ってリストから選 180°回転/ミラー 択してから、保存した希望のユーザー設定プロファイル番号に変更し、▶/ENTER(エンター)を押して ナヤプチャー 設定 選択を保存します。 デフォルト

デフォルト

▶を押し、▲ ボタンまたは▼ボタンを使って YES (はい) を選択して元の工場出荷時デフォルト設定に復元します。終了するには NO (いいえ)を押します。▶/ENTER (エンター) を押して選択を確定します。

トラブルシューティング

このセクションでは、CP-LIGHTの使用時に発生するかもしれない一般的な問題の解決方法について説明します。

プレゼンテーション画面に画像が表示されません。

- 1. 本書に表示されているようにすべてのコネクタが正しく接続されているかどうかを確認します。
- 2. ディスプレイ出力装置のオン/オフスイッチを確認します。
- 3. ディスプレイ出力装置の設定を確認します。
- 4. ディスプレイ出力装置を使ってノートパソコンやコンピュータからプレゼンテーションを行っている場合は、接続を確認し、ドキュメントのカメラソースを PC Mode (PC モード) にしてください。

CP-LIGHT の設定を完了し、すべての接続がマニュアルに指定されている通りになっていることを確認しましたが、希望のプレゼンテーション画面で画像を表示することができません。

- 1. スタンバイモードでは、ユニット POWER(電源)ボタンがオレンジ色に変わります。 POWER(電源)ボタンをもう一度押して、オンにします。LED ライトが青に変わります。
- 2. デフォルトのカメラ表示解像度は 1024x768 に設定されています。出力装置がこの解像度に対応していない場合、画像は投影されません。MENU および▶ボタンを使って、解像度設定を変更してください。
- 3. ディスプレイ出力デバイスがテレビまたはその他のアナログデバイス上にある場合は、 テレビ/RGB ディップスイッチをテレビに切り替えます。

プレゼンテーション画面の歪んだ画像や不鮮明な画像が表示されます。

- 1. 必要なら、変更したすべての設定を最初の既定値にリセットしてください。(詳しい手順についてはメニュー機能を参照してください。)
- 2. 可能な場合は、輝度またはコントラストメニュー機能を使って歪みを修正します。
- 3. 不鮮明な画像や焦点が合っていない画像が表示された場合は、コントロールパネルの Auto Focus (自動焦点) ボタンを押してください。

プレゼンテーション画面にコンピュータ信号が表示されません。

- 1. ディスプレイ装置、CP-LIGHT、コンピュータ間のすべてのケーブル接続を確認します。
- 2. コンピュータと CP-LIGHT を接続してから、コンピュータの電源を入れます。
- 3. ノートパソコンが外部ディスプレイ装置に画像を出力するように設定されているかどうかを確認します。

カメラモードから PC モードに切り替えると、プレゼンテーション画面に PC やノートパソコンのデスクトップ画像が正しく表示されません。

- 1. PC またはノートパソコンのデスクトップに戻って、デスクトップ上でマウスを右クリックし、「プロパティ」を選択してから、「設定」タブを選択します。「2」のモニタをクリックして「Windows デスクトップをこのモニタ上で移動できるようにする」のボックスをオンにします。
- 2. その後、もう一度 PC またはノートパソコンに戻り、デスクトップ上でマウスを再び右クリックします。
- 3. このとき、「グラフィックオプション、「出力先」、「Intel® Dual Display Clone」の順に 選択してから、「モニタ + ノートパソコン」を選択します。

4. 上記の手順を完了すると、プレゼンテーション画面と同じデスクトップ画像が PC またはノートパソコンに表示されるはずです。

保証について

該当する製品の購入日から「Warranty Period of AVerMedia Product Purchased(購入され た AVerMedia 製品の保証期間)」セクションに定める期間、AVerMedia Information, Inc. (「AVerMedia」) は、該当する製品(「製品」)が、AVerMedia の製品向け文書に実質的 に適合し、通常の使用では、その製造とコンポーネントに材料および仕上がりの欠陥が ないことを保証します。この契約で使用される「使用者」は使用者個人、または該当の 製品を使用またはインストールする対象となる事業体を意味します。この制限付き保証 は本来の購入者としての使用にのみ限定されます。前述の場合を除き、製品は「現状の まま」提供されます。AVerMedia はいかなる状況でも、使用者が問題または中断なく製 品を操作できること、または製品が使用者の目的に適合していることを保証するもので はありません。この節における使用者の唯一の救済および AVerMedia の全責任は、 AVerMedia の選択で、同じまたは同等の製品で、製品の修理または交換を行うことです。 この保証は、(a)製品のシリアル番号が判別不能だったり、修正されたり、外されたり した場合、または(b) 本製品と一緒に使用されるカートン、ケース、バッテリ、キャビ ネット、テープ、アクセサリには適用されません。この保証は、(a)事故、乱用、誤用、 粗略な取扱い、火、水、落雷などの自然災害、商業的または工業的使用、不適切な改造、 製品に含まれる指示に従わないこと、(b)製造元の担当者以外の者によるサービスの誤 用、(c) 出荷による損傷(そうした賠償は運送業者に請求しなければならない)、または (d) 製品の不具合に関係のない他の原因によって、損傷、機能悪化、異常が生じた製品 には適用されません。製品を修理または交換する保証期間は、(a)本来の保証期間、ま たは(b) 修理または交換した製品の出荷日から30日以内とします。

保証の制限

AVerMedia はいかなる第三者に対しても保証する責任を負いません。製品の使用または不使用によって使用者に要求されたすべての賠償、損害、返済、費用、弁護費用については、使用者が責任を負います。この保証は、製品が AVerMedia の仕様に従って設置、操作、保守、使用された場合にのみ適用されます。特に、保証は、(i) 事故、異常な物理的、電気的、電磁気的ストレス、粗略な取扱い、誤用、(ii) AVerMedia の仕様の範囲を超える電力の変動、(iii) AVerMedia または同社の正式代理店によって提供されたのではないアクセサリやオプションの併用、または(iv) AVerMedia または同社の正式代理店以外の者による製品の設置、改造、修理によって引き起こされるいかなる障害にも適用されません。

保証の放棄

AVerMedia は、明白に規定されている場合を除き、および法律で最大限に認められる範囲で、明示的か、暗黙か、法令によるかを問わず、品質の満足、売買の過程、取引利用や慣行や商品性の暗黙的保証、特定の目的への適合性、第三者の非侵犯を含む、またはそれらに限定されない製品に関する他のすべての保証を放棄します。

責任の限定

AVerMedia はいかなる事態が発生しようとも、過失または他の法的理論を含む契約または不法行為に基づき、この制限付き保証、またはいかなる製品の使用または性能に関連して発生した利益、データ、売上、利用の損失、またはビジネスの中断、または代替商品やサービスの提供コストを含む、またはそれに限定されない、直接的、間接的な、特殊な、偶発的な、深刻な、必然的な損害および損失に対して、そのような損害の可能性

が事前に何らかの形で指摘されていたとしても、責任を負わないものとします。いかなる形態の行為に起因するものであれ、損害に対する AVerMedia 責任は、責任が求められる特定の製品に対して使用者が AVerMedia に支払った額を超えないものとします。

準拠法と使用者の権利

この保証は使用者に特定の法的権利を付与します。



保証期間については、保証書を参照してください。

http://www.avervision.com/jp